

指針第1号様式

4 温室効果ガスの排出の状況

基準年度（令和 6 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		1,442	t-CO ₂
① （温 室 除 く 二 酸 化 炭 素 換 算 ）	②非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	③メタン		t-CO ₂
	④一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑤ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑥パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑧三ふっ化窒素		t-CO ₂
温室効果ガス総排出量（①～⑧合計）		1,442	t-CO ₂

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標

(1) 温室効果ガス排出量の抑制目標

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量
------------------	------

項 目	基準年度 令和 6 年度 排出量（実績）		目標年度 目標排出量		令和 9 年度 目標削減率	
	温室効果ガス 総 排 出 量	1,442	t-CO ₂	1,421	t-CO ₂	1.5

項 目	基準年度 令和 6 年度 排出量（実績）		目標年度 目標排出量		令和 9 年度 目標削減率	
	原単位当たりの 排 出 量		t-CO ₂		t-CO ₂	

(2) 目標設定の考え方

温室効果ガスの排出量を1年間で0.5%削減し、3年間で1.5%削減する。

備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。

備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。

備考3 原単位当たりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量当たりの温室効果ガス排出量をいいます。

指針第1号様式

6 温室効果ガスの排出の抑制等に係る措置

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標
省エネルギー・省資源 <空調設備>	<ul style="list-style-type: none"> 共用エリアの空調を細かな運転管理で実施。 中間期の外気導入により空調運転時間を削減。 空調フィルターの定期取替えによる効率運転管理を実施。 インバーター定期点検により空調制御を確立。 	<ul style="list-style-type: none"> 室内環境に適した空調機及び熱源の運転管理の適正化。 ビル管理側だけでなく、入居テナントも外気導入の自主実施による省エネ意識の向上。
省エネルギー・省資源 <照明設備>	<ul style="list-style-type: none"> 設備更新時はLED器具を導入。 不必要な照明の消灯推進。 タイマー制御の確認を定期的に行い、不要点灯及び誤点灯を防止。 	<ul style="list-style-type: none"> 白熱灯及び水銀灯からLED器具への更新。 概算省電力量 令和7年度 B4～3階 ▲ 29,117 kWh/年 令和8年度 4.5階 ▲ 113,862 kWh/年 照明点灯時間の削減。
省エネルギー・省資源 <動力・その他>	<ul style="list-style-type: none"> テナント営業時間に即したエスカレーター運転・冷水ポンプ運転の実施。 デマンド制御装置の活用による最大需要電力の抑制管理。 	<ul style="list-style-type: none"> 適正な運転時間の見直し。 最大需要電力超過の厳守。
廃棄物の抑制	<ul style="list-style-type: none"> 一般廃棄物の分別による資源化率の向上を行う。 両面コピーによるコピー紙の削減。 	

指針第1号様式

(2) 非化石エネルギーへの転換に関する措置

ア 非化石電気に関する目標

指標	目標 (2030年度)
使用電気全体に占める 非化石電気の比率	%

イ 計画期間における非化石エネルギーの利用

--

(3) 環境価値 (クレジット等) の活用

--

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置

<ul style="list-style-type: none">・ゴミの分別方法を周知し、リサイクル率向上に努めている。・不要なエネルギー消費を抑えるため、こまめな消灯や退室時の消灯確認等をお願いしている。
--

(5) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組

<ul style="list-style-type: none">・省エネ実施のため、退去後のテナント消灯状況の確認。・できる限りエレベーターを使用せず、階段等を利用し電力使用削減へ努めている。
